

平成26年9月17日

那須烏山市議会議長 佐藤昇市様

文教福祉常任委員会委員長 沼田邦彦

決算審査結果報告書

本委員会に平成26年9月9日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

記

- 1 審査期日 平成26年9月10日（水）及び11日（木）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第2委員会室
- 3 出席委員 沼田邦彦、滝口貴史、矢板清枝、中山五男、小森幸雄
- 4 説明のための出席者
市民課長 大野治樹、福祉事務所長兼健康福祉課長 樋山洋平、こども課長 青木敏、学校教育課長 網野栄、生涯学習課長 佐藤新一、文化振興課長 両方裕、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課の平成25年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・へき地医療の拠点となる熊田診療所においては、地域の医療を担うだけでなく、健康増進維持、疾病予防等のサポートをより一層進めるとともに、地域住民のふれあいの場、相談できる場、安心できる場になるよう努められたい。各診療所とも地域との信頼関係の構築に向け、さらなる努力をされたい。

健康福祉課

- ・集団検診の自己負担分の軽減を開始したとのことであり、受診率の向上への効果を期待するところである。検診の受診希望は個人の考えであるとはいえ、がん検診受診率の低さは懸念するところである。市も苦慮していることとは思うが、市民の健康維持、病気の早期発見早期治療に結びつけるためにも、受診率向上に向けさらなる普及啓発に努められたい。
- ・急速な高齢化が進む中、地域での相互扶助がさらに重要となっている。地域相互扶助のふれあいの里事業を拡充されたい。

こども課

- ・発達障がい又はその疑いのある子どもの増大は大きな問題である。現状を厳しく捉え、引続き万策を尽くして対応されたい。
- ・収入未済の保育料について、さらなる滞納繰越の縮小に努力されたい。

学校教育課

- ・教育委員会委員には学校行事への参加のみでなく、平時に学校訪問等を行っていただき、教育現場の現状を見ていただける機会を作られたい。
- ・スクールバスの運行は、子どもの安心、安全を考慮し、地区や学校によって格差が無いよう公平に対応されたい。

生涯学習課

- ・B&Gプールの有効活用について、子どもの学校教育の利用において不可欠となっているが、高齢者の健康維持にも有効活用されたい。
- ・結婚相談員制度は、今後相談員と意見交換をし、存続すべきかどうかも含め検討されたい。
- ・武道館についてであるが、震災で被災してから3年半経過しているが、未だにそのままであり、毎年地代の支出が発生している。次の武道館の整備方針を最優先に定められたい。

文化振興課

- ・歴史資料館に関しては、休館も視野に入れて現況の改善に努められたい。併せて、資料館の構想を外部委託しているとのことなので、一日も早く開館できるよう努力されたい
- ・長者ヶ平官衙遺跡への投資については、最小限の費用で効果の上がる整備とされたい。烏山城については、築城600年を迎えるにあたり、城跡の利活用を見据えた環境整備をされたい。その際用地取得についても検討されたい。